

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ

参議院議員 田城 郁



2012年5月8日 No.1047

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>



日本中から原発の火が消える5月5日、「原発ゼロの日 さようなら原発5・5集会」が東京・芝公園23号地で開催され、JR総連から組合員300名以上が参加。浜松町まで「脱原発」「再稼働反対」を訴え、デモ行進をおこなった。



ついに全原発稼働停止

北海道電力泊原発3号機(出力91万2,000kw)は5月5日11時03分に定期検査入りし、7日午前4時には核分裂反応が収まり、完全停止した。

日本の全原発停止と「こどもの日」と重なったこの日、市民らは手に手に鯉のぼりを持ち、芝公園に集まった。集会では、主催者を代表して呼びかけ人の鎌田 慧氏、澤地久枝氏、内橋克人氏のほか、賛同者の古今亭菊千代氏が挨拶。北海道平和運動フォーラム長田秀樹事務局長の現地報告、原子力資料情報室の山口幸夫共同代表から「ストレステストと再稼働の問題点」が報告された。また、韓国からは環境財団の崔冽氏、福島の女性たち、講師・神田香織氏のスピーチののち、作家・落合恵子氏がまとめをおこなった。集会・デモの参加者は5,500人。停止原発の廃炉、計画中原発計画中止、「もんじゅ」や再処理工場の運転断念とプルトニウム廃棄、持続可能エネルギー政策への転換要請と、7月16日に代々木公園で開催予定の10万人集会への参加が呼びかけられた。



ストップ再稼働



5月5日は
原発ゼロの日



さようなら原発